

第2回町田市芹ヶ谷公園再整備基本計画懇談会議事要旨

会議名	第2回町田市芹ヶ谷公園再整備基本計画懇談会	
開催日時	2015年2月19日(木)午後1時30分~午後3時30分	
開催場所	町田市役所 市民協働おうえんルーム	
出席者	委員	海老塚耕一、天野真、伊藤弘一郎、高橋倫正、 稲木健志、岩崎俊男、野澤滋享(7名、敬称略)
	事務局	都市づくり部長、企画政策課、公園緑地課、未来づくり研究所、文化振興課、市立博物館、国際版画美術館、児童青少年課、地区街づくり課、生涯学習総務課 株式会社 環境・グリーンエンジニア
公開・非公開	公開	
傍聴人数	1名	
議題	議題1 再整備基本計画について ① ヒアリングの報告 ② 公園の事例について ③ 再整備基本計画(素案)	
次第	1. 開会挨拶 2. 第1回懇談会議事要旨の確認 3. 再整備基本計画(素案) ①ヒアリングの報告 ②公園の事例について ③再整備基本計画(素案) 4. その他(次回懇談会の日程等)	
資料	資料1 議事要旨 資料2 芹ヶ谷公園再整備基本計画(素案)	

1. 議事要旨の確認について

- ・誤植箇所は、事務局で修正してホームページに公開することの了承を得た。

2. 再整備基本計画(素案)

① ヒアリングの報告

ア. 子育て世代へのヒアリングについて、事務局より以下の4点を報告した。

ア) 公園は鬱蒼としているため防犯上の不安がある。特に冒険広場の周りは遊んでいる子どもが多いので園内灯を設置して欲しい。

イ) 多目的広場の脇にあるトイレの老朽化が進んでいるため建替えて欲しい。

- ウ) 警備員のいる場所がわかりにくいためわかりやすく表示して欲しい
- エ) 桜祭りの際、桜が少なく見栄えがしないため増やして欲しい。

以上

→補足

- ・警備員室の表示のことではなく、多目的広場の前の小高い丘に移転してもらいたい、ということ。

イ. 委員に「芸術の杜」のイメージについて、伺った内容を報告した。

- ・1 例目は広島県尾道市瀬戸田町という所。全国で最も行きたい場所ランキングのアンケートがあった時に町民全体を巻き込み、「瀬戸田町に行きたい」という応募をしたところ、ランキング1位に輝いた。平山郁夫の出生地という事で平山美術館を作り、さらにすでにその役目を終え終了しているが、2年に1度、瀬戸田ビエンナーレという美術展を開催している。そのビエンナーレにより多くの有名彫刻家の作品が島のあちこちに点在している。この企画を始めた町長の考え方としては、島の子供達が都会に出て彫刻を見た時に、「瀬戸田町にも同じ作家の彫刻があった」と島の風景を思い出して自信を持って欲しいという思いがあったという事。名称も「島ごと美術館」と付けて売り出しをしている。
- ・2 例目は岡山県井原市。平櫛田中<sup>ひらくしてんちゅう</sup>という著名な彫刻家の出生地という事で、平櫛田中美術館を建てた。それを建築しただけでなく、日本を代表する「平櫛田中賞」という賞を設けた。行政として美術をいかに活用していくかという姿勢が積極的である。
- ・2つの事例を基に、「真の芸術の杜を目指すには、行政の姿勢が大切だ」というご意見だったと認識している。
- ・他にも今回の芹ヶ谷公園の施設にどのようなものを入れるか。公園に遊具を作って遊び場を用意してからさあどうぞとって遊んでもらうのではなく、子ども達は何も無くとも棒が1本あれば、遊びを考えられる発想力がある。施設を絞ることで多様な来園者にとって魅力ある空間が実現できるのではないか。
- ・今回、基本計画を考えるにあたり、芹ヶ谷公園全体を芸術作品とするのか或いはそこまで出来ないのかでイメージが変わる。

→補足

- ・インターネット上に地域アートマップというものがある。これを見ていくと富山県井波市は欄間などの木彫刻で有名だが、今後は欄間だけではやってい

けないので町ぐるみで新たな彫刻による表現を広めていくという運動をしている。

- 新潟の妻有という豪雪地帯では、妻有アートトリエンナーレという3年に1回の展覧会を開催し、そこで様々な施設を作って町興しをしている。若者達がボランティアで集まり「子ヘビ隊」というものを作って、作家の制作の手伝いや案内をしている。
- 豊橋市では開かれた博物館という運動をしている。また、隣の相模原市では全ての小中学校が参加する「風っ子展」を毎年開催しており、大きな運動になっている。形は違えども場をいかに作るかが重要ではないか。
- そういった場の典型的な1つの形として、瀬戸田では三十数点の作品が島中に置かれている。もう一つの井原市は、ギネスブックにも載る百何歳まで生きた田中という彫刻家の田中賞を作り、各地から彫刻家が集まる様な展覧会を開く事で山陽・中国地方に開かれた形で広まっていった。単体ではなく、地域を巻き込んだ形で美術館が存在している。
- 芸術の杜をどの様な場にしていくか、芸術の杜に相応しい場というのはどういうものかという事を考えていく必要があるのではないか。
- また、場というものがどういう風に作られるかという、例えば電気・ガス・トイレさえあれば芝居小屋や音楽ができ、広場さえあれば様々な催しができる。そういったニュートラルな場所を作れば、公園の色々な場所でテントを張って芝居をしたり音楽会を開催したりという事ができるのではないか。
- 場というものがどういう形で成立するか、広がりを作る為に町田市がどの様に考えているのか、という事を問いたい。「美術館のある公園」ではなく、全体が「芸術の杜」になっていき、最終的には町田市のシンボリックな公園になる必要があると思う。
- 今後、公園全体を芸術の杜とするかということと、ネーミングとの関係性で「芸術の杜」という言葉が最初から独り歩きしてよいものかどうかという事は、併せて考えなければならない問題である。

## ② 公園の事例について

- 「町のシンボリックな公園にする」という事は、前回話した「公園、エリアのブランディング」をしていく事だと思う。
- 私は、授業で学生達に「公園の経営」について伝えている。公園をリニューアルする際に、単に植物を植えて綺麗にするだけでなく、これからは公園自体が自立していかなければならないと教えている。管理施設に関しても、公園が自立できれば色々な施設を作ることが出来る。例えば、様々な場所に非常ベルや応答可能な通信設備を設置することで事務所以外でも対応可能になる。

- 面白い事例を紹介したい。世界一美しいスターバックスがある公園。これは富山県富山市の富岩運河環水公園。ここの公園に、非常に美しいスターバックスができた。元々公園にあった運河を整備し、夜には水に映し出される景色が美しいロマンチックな場所を提供した。そこにポツンとスターバックスがあるが、非常に評判になり100万人もの人が訪れる様になった。公園は活性化し、さらに地域にも人が循環する様になったという事例。周りにビルが立ち並び中にある綺麗な空間、非日常的な空間を味わえるのがこの公園の魅力なのではないかと思う。
- 現在では、スターバックスは福岡の大濠公園や上野公園にも進出している。
- 次の事例は、なばなの里について。ここ最近のイルミネーションブームの先駆けとなった公園。田舎にあるが徹底的に綺麗な花を植え、隣には花の市場を設置して展示と販売を兼ねる様にし、そこへ6つのレストランと温泉を作った。売り方も上手で「入村料」は、1600円と多少高いと感じるが、それには園内で使える1000円分の金券が付いているため、実質600円で見られる。園内では、花を見ながら食事をして、風呂に入って、1日を過ごせる公園である。夏はサービス期間として入村料を1000円にし、全額金券として使用が出来る。だから、食事をするだけでも、気軽に入れる。また、冬は花が全く咲かないので、イルミネーションを徹底して行っている。入村料は冬の方が高く2100円になるが、冬だけで何十万人という来園者がある。これも公園経営の一つである。
- 施設に関しても一つある。長崎県武雄市に綺麗な図書館がある。当時の市長が、「普通の図書館ではつまらない」という事でTUTAYAと連携して、読書や本の購入を出来るようにした。図書館を利用すると、Tポイントカードにポイントが付与される。また、スターバックスもそこに入っている。この図書館については賛否両論ある。元来、図書館は静かな空間であるのに、ここはザワザワとしてしまっている。そういった面で議論は残っているが、これは図書館自体の概念を変えるという一つの考え方である。
- 吉祥寺は、町田と似ている。ここでは井の頭公園を中心に、若者に人気がある。町田も活気があるが、吉祥寺のように公園にも町の賑やかさをもっと取り込めないかと思う。そうすれば、今の様な暗いイメージも払拭されるのではないか。先日、井の頭公園を歩いてきたので、写真をご覧いただきたい。(写真の説明)
- 芹ヶ谷公園と違うのは、井の頭公園には動物園や、近くに宮崎駿さんのジブリの森があり、町自体に活気がある。公園に向かう道に人が沢山おり、そこには店が入る。店が入ると、お客を呼ぼうと綺麗にお洒落にしていく。そうすると、近所のマンションの屋上にも公園が一望できるカフェを作り、売り

出す。そういうものが積み重なって、町がブランディングされていく。吉祥寺自体に人気がある為、公園と反対側にも人が入っており、イベントが開催される時には何万という人が集まる。そういった事で、町のブランディングをしていこうという考え方。町田と吉祥寺は非常に似ていると感じたので、紹介した。

- 趣旨とは外れるかもしれないが、よく学生達にする話がある。東京は世界的に見て街路樹の多い都市である。東京と比べニューヨークのマンハッタンには緑が殆ど無いが、小さなスペースを巧みに活用して植物を植える事で、緑を感じられる工夫がされている。こういったスペースは、マンハッタンで働く方々の昼休憩の場や商談の場となっている。町田の公園の周辺でも、空いている空間に緑を植える事で、公園と同じエリアであるという一体感を持たせブランディングしていくのはどうか。さらに彫刻やアート作品を置くと面白く、またその作品がベンチになったり待ち合わせの場所になっていたりすると、アートと町の融合ができると思う。

### ③ 再整備基本計画（素案）

#### ア. 芸術の杜のテーマに関して

- 芸術をテーマにし自治体を中心となって行われている様々な活動がある。地域アートマップ(開隆堂出版)に芸術を活用したまちづくりの事例が記載されている。新潟県妻有という豪雪地帯で3年に1回の芸術祭(大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ)を開催し、施設をつくっている。井波市では欄間彫刻で町おこし、豊橋市では開かれた博物館づくり、相模原市では風っ子展などがある。(会長代理)
- 公園内に広場のようなニュートラルな場所があれば演劇、音楽など芸術の場ができる。町田市がこの公園で何を、どのように考えているかが重要。(会長代理)
- 公園に美術館だけあればというものでなく、公園全体が芸術ということ言うなら、そういう場が必要であると考え。(会長代理)
- 前回の懇談会でも議論になったが、芸術の杜が最初から一人歩きしてよいのかという問題がある。(会長代理)
- 公園内に2つ美術館ができるから芸術の杜というのは短絡しているのでは。(会長代理)
- 芸術の杜という考えは良いが、7000坪という都営高ヶ坂団地跡地の位置づけがはっきりしない。これを抜きにして考えられない。モノレールのことも市の説明がはっきりしない。(委員)
- 彫刻など芸術のある杜のカフェという新たなイメージ、いいネーミング、目標があるといい。(委員)

- 彫刻などあまり市民が興味を示さない。美術は、まちづくりにおいてそれほど力はない。地道なものとして捉え、過大評価してはいけない。(会長代理)
- 公園の緑と芸術というものを両立できるのか。(委員)
- 芸術の杜というのを、そもそも本気でやろうと考えているのかどうか。名前を付けるだけでは意味がない。芸術の杜というのは本気でやる気なら金をかけなければ人は来ない。(委員)

#### イ. 公園のブランディング、魅力付け、公園経営について

- 企業化されていかないと公園経営はうまく行かないということも言えるのか。(会長代理)
- 企業は一つのビジネスの場として公園、図書館など公共の場に注目し始めている。(委員)
- 美術館を第3セクターでやった事例もあるが、美術は学芸員でないと出来ないことがわかりどこもうまくいっていない。(会長代理)
- 公園は住民のものだから静かな場所であってほしいという考えと、市内の自慢できる公園にしたいという考えがあるように思える。(委員)
- 公園は地域や住民のものなのか、それとも2つの美術館があるので世界に開かれたものにすべきか、ということについて町田市はどう考えているのか。観光地化するのかという考えにもつながる。(会長代理)
- 薬師池公園には観光という幅広い魅力がある。しかし、芹ヶ谷公園の版画美術館、工芸美術館というのは極めて狭く専門的である。箱根ガラスの森美術館は何度でも行きたい場所だし、国営昭和記念公園には、バーベキュー場などがあって魅力的。スターバックスなどが出店すると一つの魅力になる。飲み食いは公園の存立の重要な要素である。(委員)
- カフェなど美術館併設ではなく、公園の真ん中や、自然の中にあったらいいと思う。買い物の途中や帰りに休める場があると立ち寄りやすい。距離を感じないよう、公園までのアクセス路に彫刻を置いたり、わかりやすいサイン表示を工夫すれば良い。また、カフェやレストランとの連携も良い。(委員)
- スターバックスが出店したくなるような魅力を感じる公園の要素を考える必要がある。(会長代理)

#### ウ. 工芸美術館について

- 博物館ごと工芸美術館に移すように市政懇談会で要望している。(委員)
- 博物館は開館42年を迎えている。民俗歴史、郷土関係は移転しない。博物館の近くに本町田遺跡公園という縄文期の遺跡があり、郷土資料館の要望がある。どのような方法が市民にとって有効なのか教育委員会とも今後協議して検討して

いきたい。(事務局)

- 博物館はアクセスが悪く、建物の修繕も踏まえて検討していく。工芸品については良いものもあるので、これを芹ヶ谷公園に施設を建てて移すということを決めた。遺跡は移せない。(事務局)
- 国際工芸美術館という国際という名がついている。工芸館を新たにつくる必要性があることを裏付けるような、あるいは価値が高いということを示すような、収蔵品リストが広く高附されていない限りわからない。そのようなものを市民が手にしない限り、工芸美術館が必要という説得力がない。(会長代理)
- 庁内で検討してそういったものを今後市民に示していきたい。(事務局)
- 工芸館が新設されることで公園が充実するというイメージをつくっていけないか。今の状況では公園と工芸館が2つに分かれている。連携がとれていない気がする。(委員)
- 工芸館というのはわかりにくい。ガラス工芸、陶磁器など具体的な施設名の方がわかりやすい。(委員)
- 工芸は金工、うるし、染色など分野が広い。広い分野の中で、生活に近い工芸として市民に紹介していきたいと考えている。現在の「工芸館」というのは仮称である。(事務局)

#### エ. 公園へのアクセスについて

- 駅から距離があり、坂もきつく来園しづらい。ただ、工芸館が出来ればエレベーターが利用でき、住民も利用できるというので少し安心している。(委員)
- 公園の存在がわかりづらいというのがある。文学館通りなど周辺の整備で解決していかないといけないが、行政の力を発揮してもらわないと地元だけではとてもできない。(委員)
- 街全体として考えるとアクセスができていないと行かないのではないか。大型バスを停める駐車場がない。都市計画道路ができるということになると、大型バスを停める駐車場を考えていかななくてはならない。人を呼びたいということになると考えなくてはならない。(委員)
- 駐車場の台数は、今の人数が来ればいいという考えなのか。(会長代理)
- 国交省の算定方法で、一般的な駐車場を需要予測した。詳細については、基本設計で検討したい。(事務局)
- 駐車場をバーベキュー広場近辺に作るのは理解できるが、なぜ、町田駅側に作らないのか。(委員)
- 地元の人でも行くのが大変な場所。谷底に行くのには、前回の懇談会でも言ったように、エレベーターより屋外エスカレーターの方がいいと思う。(委員)

オ. 公園の特性・ゾーニング・動線・公園の施設等について

- 時代祭りの流鏝馬で距離が足りないので広げられればいいと思う。(委員)
- 公園は基本的には地形を改変できないが、多目的広場周辺では場所によって若干であれば可能性がある場所もある。(事務局)
- ここは湧水が豊富で災害時のことを踏まえると変えない方がよい。(委員)
- 北西側は静かで落ち着いた空間で、非日常的ないい空間だと思う。ここでコーヒーを飲めたらいい。(委員)
- 4つの空間に分かれているが、全く違うコンセプトに分かれて、4つの違う公園のように見える。一つの視点をもって、その視点を中心にそのいろいろなものが付随させた方がいい。(会長代理)
- 反対に4種類の味わいができるという捉え方もあるかとも思う。(委員)
- 公園全体を歩く道、尾根つたいに歩けるルートがあると良いのではないか。(会長代理)
- 検討していきたい。(事務局)
- 公園全体を周遊できるルートがあれば、散歩、ジョギングなどで来やすく、また防犯上も目が届きやすい。(委員)
- 最近、引地川公園泉の森(神奈川県大和市)に行ったが、参考にしたら良い。(委員)
- 谷底にある公園なので、使い勝手は悪い。公園全体を周遊できるルートは山を削ることになるので行政としては難しいのではないか。(委員)
- ここは町田の地形の代表のようなところで、一体化するよりむしろ4つのゾーンにすることは面白いと思う。(委員)
- 意見は反映できるものとできないものがあると思うが、再整備基本計画図素案のようになるのはいい。飲食の場が出来れば、来園者が増えると思う。(委員)
- 公園内に野外型の簡単なステージをつくり、普段は使わないでイベントのとき使うとこともできる。(委員)
- 谷戸を使う公園というのは、いかに活かすかが重要なポイントだ。(委員)
- 冒険遊び場は人気がある。特に土日は子どもの利用で賑わっている。(委員)

カ. 防犯・防災について

- 北西側地区は奥に位置し目が届かないので、工芸館を奥につくることで、人の目が出来防犯上にも良くなる。(委員)
- 湧水の場所に工芸美術館を建てるのは難しいのではないか。(委員)
- トイレは、災害時を考えると現在の2箇所では少ない。あるいは多目的広場に警備員室を移すのであればそこに工芸館も移すのもよい。公園全体を明るくし、来やすい公園にしたらい。(委員)



- ・ 芹ヶ谷公園は避難場所に指定されているが、防災の考え方について取入れた方がいいと思う。美術館にも避難者が来ることは、考えるべき。(委員)
- ・ 災害時に帰宅困難者が出た場合、芹ヶ谷公園の広場に収容し、物資の配布などが考えられる。(事務局)

#### キ. その他

##### ア) 芹ヶ谷公園関連に関する子どもたちの声について紹介

- ・ ボールを使えるようにしてほしい。
- ・ 絵を描くところがほしい。
- ・ 観光客が増えるようにしてほしい。
- ・ 街灯を増やしてほしい。
- ・ 動物とふれあれる公園にしてほしい。
- ・ 水飲み場、トイレを増やしてほしい。

##### イ) 次回懇談会について

(事務局)

- ・ 市民意見は内容がもう少しまとまったところでやりたい。当初懇談会は4回の開催予定であったが、4月から5月に懇談会をもう1回増やして、5回にした。 (委員全員了承)
- ・ 第3回目の懇談会は、4月半ばから5月にかけて行うことで調整したい。